

FLY HIGH 2026

京都工芸繊維大学 海外留学プログラムガイド

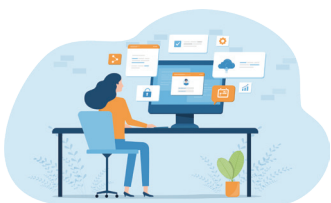


世界に飛び立つ。未来が動き出す。

留学相談の予約は随時受付中！

国際課での留学相談の予約を随時受け付けています。予約方法は裏面の「国際課海外留学係」をご覧ください。

また、大学HP（国際交流＞海外留学）や、Moodleで「海外留学」と検索すると海外留学に関する様々な情報がご覧になれます。ぜひご活用ください。



4月22日(水) 海外留学説明会開催！

海外留学のプログラム、現状と今後の動向、留学準備のために出来ることなど、幅広くご紹介します。

日時：4月22日（水）12:10-12:40
場所：60周年記念館



2026年度 留学プログラム&留学費用の学資援助

各プログラムには申請資格や要件があります。必ず大学HP等で募集要項をよく確認のうえ、申請してください。

HP>国際交流>留学プログラム



KIT 短期海外英語研修

最新情報は学生情報ポータルや大学 HP 等で告知します。基準を満たすと 2 単位が認定されます。

派遣先	リーズ大学附属語学学校（イギリス）	ヴィクトリア大学附属語学学校（オーストラリア）
期間	5 週間（夏季休業中）	5 週間（春季休業中）
対象	学部日本人学生（永住者・特別永住者を含む） ※成績、単位取得状況や語学能力等を総合的に判断	学部日本人学生（永住者・特別永住者を含む） ※成績、単位取得状況や語学能力等を総合的に判断
人数	10名程度（例年 4 月に募集開始）	10名程度（例年 10 月に募集開始）
参加費用	一人当たり 60 万～70 万円の自己負担	一人当たり 50 万～60 万円の自己負担
学資援助	2025 年度は上限 20 万円（2026 年度は検討中）	2025 年度は上限 20 万円（2026 年度は検討中）
詳細	学務課：学務課 HP > 独自プログラム > 短期英語研修	

1 交換留学

本学と授業料不徴収の協定を結んでいる海外の大学へ交換留学をするプログラムです。現地の大学で専門分野を学びます。詳細は「交換留学について（最終ページ）」をご覧ください。

派遣先	本学の協定大学 ※最終ページ参照
期間	1 セメスター以上～1 年
対象	原則学部 3 年生以上および大学院生
人数	留学先大学ごとに 1～2 名
費用	期間、留学先による ※派遣先大学での授業料は不要
奨学金	KIT グローバル人材育成プログラムに応募可能

2 グローバルインターンシップ

大学の研究室や研究機関等で実践的なプロジェクト遂行を体験し、国際的な視野を持つ人材育成を目的としたプログラムです。

派遣先	海外協定大学の研究室・研究機関等 (各課程・専攻において企画・募集されます)
期間	原則 16 日以上～1 年以内
対象	原則学部 4 年生以上および大学院生 ※成績、語学能力等の要件あり
人数	1～10 数名のグループなど（プログラムによる）
費用	期間、留学先による
奨学金	KIT グローバル人材育成プログラムに応募可能

3 サマー／スプリングプログラム

海外の協定校などとの連携により、本学教員が企画するグループ型の派遣プログラムです。一つのテーマについて学際的に学ぶことができ、分野を問わず応募が可能です。多様な顔ぶれの参加者と協働しながら語学力・異文化適応力を養います。詳細は「短期留学プログラム（次ページ）」をご覧ください。

4 国際連携学位プログラム

本学に在籍したまま海外の大学に学位留学ができるプログラムです。修了時に複数（または共同）の学位が取得できます。詳細は「国際連携学位プログラムについて」をご覧ください。

博士前期課程 国際連携建築学専攻	ジョイント・ディグリー	1 学期間 チェンマイ大学へ
博士前期課程 材料創製化学専攻 材料制御化学専攻	ダブル・ディグリー	1 年間 トリノ工科大学へ
博士前期課程 機能物質化学専攻		1 年間 ベニス大学カ・フォスカリ校へ
博士前期課程 機械物理学専攻 機械設計学専攻		1 学期間 ウーディネ大学へ
博士前期課程 デザイン学専攻		1 学期間 ロンドン芸術大学へ
博士前期課程 先端ファイブ科学専攻 WE-TEAM	マルチプル・ディグリー	2 年間で 3 大学以上へ
博士後期課程 物質・材料化学専攻	コチュテル	半年間以上 ベニス大学カ・フォスカリ校へ
奨学金	KIT グローバル人材育成プログラムに応募可能	

5 JoinTECH Laboratory プログラム

欧州の 6 つの連携大学に数週間～数ヶ月留学し、ご自身の研究を派遣先で継続できます。詳細は QR コードよりご覧ください。



対象	学部 4 年生～博士前期課程 電子工学・材料化学・分子化学の分野
奨学金	KIT グローバル人材育成プログラムに応募可能

6 文部科学省 トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム（官民協働海外留学支援制度）

海外での「課題発見・解決」や「実践活動」を焦点にし、教育上有意義な学習計画と認められた留学が支援されます。文部科学省に申請し、書面審査および面接審査に合格した学生に奨学金等が給付されます。

※2026年度の募集は未定

KIT グローバル人材育成プログラム【奨学金】

I	日本学生支援機構（JASSO） 海外留学支援制度（協定派遣）
支援期間	原則16日～1年間
対 象	学部・大学院の正規課程に在籍する日本人学生（永住者、特別永住者を含む）で、語学・成績要件を満たす者
対 象 プログラム	交換留学・国際連携学位プログラム・グローバルインターンシップ・サマー／スプリングプログラム
支援内容	月額8万円～12万円給付【派遣先区分による】（予定）

II	KIT 奨学金
支援期間	原則16日～1年間
対 象	学部・大学院の正規課程に在籍する学生で、語学・成績要件を満たす者
対 象 プログラム	交換留学・国際連携学位プログラム・グローバルインターンシップ・サマー／スプリングプログラム
支援内容	月額3万円～12万円給付【派遣先区分による】（予定）

III	国際研究集会等派遣支援事業
支援期間	国際研究集会参加期間
対 象	本学大学院の正規課程に在籍する学生で、語学・成績要件を満たす者
支援内容	5万円（予定）

※その他、学外機関の奨学金があります。応募方法等は随時学生情報ページにてお知らせします。

※この他、学外機関の奨学金があります。応募方法等は随時学生情報ポータルでお知らせします。

短期留学プログラム 2026年度

京都工芸繊維大学では様々な国への短期留学プログラムを実施しています。
詳細や参加者募集については、大学ホームページやメール等で告知します。

※興味があるプログラムの参加募集が開始された際
お知らせが届きます。QRコードより、メールア
ドレスをご登録ください。



KIT短期海外英語研修

受入大学：①リーズ大学附属語学学校（イギリス）
②ヴィクトリア大学附属語学学校（オーストラリア）
期 間：5週間（①夏期休業中、②春季休業中）
対 象：①②学部生（課程は問わない）
参加人数：①②10名程度
問 合：学務課学務企画係



大学附属の語学学校にて、様々な国から集まった学生と集中的に英語を学ぶ、学部学生を対象としたプログラムです。夏休みの研修はイギリスに、春休みの研修はオーストラリアに5週間留学し、ホームステイ滞中で現地の文化にも触れられます。詳細は、学務課HP（独自プログラム＞短期英語研修）または学務課学務企画係まで問合せください。

オルレアン大学サマーキャンプ

留 学 先：フランス（オルレアン）
受入大学：オルレアン大学 ポリテク オルレアン
期 間：6月前半に2週間程度 ※2026年度の募集は終了しました。
対 象：学部4年生～大学院生（課程・専攻は問わない）
参加人数：10名程度
担当教員：電気電子工学系 高橋 和生 教授



オルレアン大学の正規授業“Technological Project”に参加し、現地学生チームに1人ずつ入り、英語でコミュニケーションを取りながら、あるタスクを実行するロボットを共同で製作します。最終日には全チーム対抗のロボットコンテストに挑みます。ホームステイ先の一般家庭でフランス文化に触れられます。

科学コミュニケーショントレーニングキャンプ

概 要：下記のいずれかの国で実施されるプログラムに参加します。詳細は決定次第、HP等で告知されます。
留 学 先：オーストラリア or ドイツ or インドネシア
期 間：2週間程度・日程未定
対 象：学部生・大学院生（課程・専攻は問わない）
参加人数：10名程度
担当教員：電気電子工学系 高橋 和生 教授



オーストラリア、ドイツ、インドネシアのいずれかを舞台に、「科学コミュニケーション」を共通言語として、課題解決に取り組むプログラムです。現地の教育機関スタッフ、海外の大学教員の指導のもと、約2週間にわたり、現地の学生たちと協働プロジェクトに挑戦します。学年や専門分野を問わず参加でき、コミュニケーション力と課題解決力、科学リテラシーを養うことができます。

カンボジア エンジニアリングキャンプ

留 学 先：カンボジア（プノンペン）
受入大学：カンボジア国立工科大学
期 間：2月下旬～3月上旬・2週間程度
対 象：学部生・大学院生（課程・専攻は問わない）
参加人数：10名程度
担当教員：電気電子工学系 高橋 和生 教授



カンボジア社会の背景にある技術課題全般を取り上げ、その技術の基礎、応用展開、社会実装、国際支援活動について学びます。急激な成長を遂げるカンボジア社会を垣間見ることに洞察眼を養い、世界で活躍できる人材への発展をめざします。すべての作業をNPICの学生との協働により実施しますので、背景が異なる人間同士の交流を実感することができます。

日本のものづくりインターンシップ in タイ

留 学 先：タイ（バンコク、シラチャ、チェンマイ他）
受 入 先：日系企業数社およびキングモンクート工科大学 トンブリ校・チェンマイ大学
期 間：6月・7月中（約1週間）
対 象：学部4年生～大学院生（課程・専攻は問わない）
参加人数：5名程度
担当教員：情報工学・人間科学系 桑原 教彰 教授
繊維学系 大谷 章夫 准教授



タイに進出している日本企業は6000社以上！近年は業種、事業規模も多様化しつつあります。そんなタイの日系企業を巡るこのプログラムでは、現地を訪問し、駐在員の役割や、海外でのマネジメントについて、企業関係者の熱い思いを伺います。就職活動や就職後に必ず役立つ知見がたくさん得られます。

情報収集

参加者募集は以下で告知されます。

- ・大学・学務課ホームページ
- ・学生情報ポータル
- ・大学からのメール送信

※説明会が開催される場合もあります
※半年以上前から募集が始まるプログラムもあるので、常に情報をチェック！

申請～選考

担当課より、募集要項・参加申請書を入手し、期日までに提出してください。

- ・参加申請書
- ・志望動機（詳しく書くことで採用率UP!）
- ・TOEICスコア等
- ・選考面接が実施される場合があります。
- ・その他（募集要項を確認!）

提出期限は守りましょう

採用～渡航準備

担当課より採用・不採用の通知があります。採用された方は指示に従って手続きを進めてください。

- ・書類提出（誓約書・パスポート等）
- ・オリエンテーションへの参加
- ・渡航準備（フライト予約、宿泊手配、海外旅行保険加入等）
- ・留学中の危機管理システム登録

渡航～帰国後

ついに FLY HIGH です！
1日1日を大切に過ごしてください。

帰国後、所定の書類提出、報告書提出、成果発表会への参加等があります。それらを評価し、単位が付与されます。（詳細はプログラムにより異なります）

参加の流れ

京都にしながら留学体験！海外から来る学生達と様々な課題に取り組めます！

KIT電子工学サマースクール

フランス、カザフスタン、ドイツ、カンボジアなど様々な国からの留学生と一緒に「何かを作り出す」ミッションをクリアします。6月18日～7月3日開催



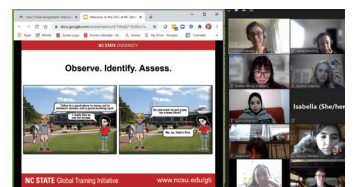
パイオニンベーション サマースクール

イタリア、スロベニアなどの留学生とともに、材料・プロセス・産業を貫く工学によるパイオニンベーションを学びます。講義、企業訪問など、充実のプログラムです。留学生とのチームワーク構築スキルも習得できます。7月9日～25日開催



ノースカロライナ州立大学（アメリカ） 異文化適応力向上 オンライン講座

様々な国から集まった大学生が1か月間、オンラインで交流し、文化的能力と異文化理解を向上します。海外留学前の準備として最適です。夏季・春季休業期間を活用して参加できます。助成制度あり。



※学生情報ポータルやメール等で、参加のご案内をします。

国際連携学位プログラムについて

本学に在籍したまま海外の大学に学位留学できるプログラムです。

博士前期課程 国際連携建築学専攻／ジョイント・ディグリー

連携大学：チェンマイ大学（タイ）

チェンマイ大学と共同で開設された建築設計学と都市・建築再生学を中心としたプログラムです。建築学専攻のカリキュラムとも緊密に連動しながら、京都とタイ相互の伝統・文化を背景とした都市・建築の計画・設計の在り方について学習します。

博士前期課程 材料創製化学・材料制御化学・機能物質化学専攻／ダブル・ディグリー 博士後期課程 物質・材料化学専攻／コチュテル*

連携大学：トリノ工科大学（イタリア）・ベニス大学カ・フォスカリ校（イタリア）

水の都ベニスまたは工業都市トリノで材料化学を学びます。1年間の滞在中に授業を履修しつつ、自身の研究分野に違う角度から取り組むことで、研究の幅と視野の拡大を図ります。

博士前期課程 機械物理学専攻・機械設計学専攻／ダブル・ディグリー

連携大学：ウーディネ大学（イタリア）

イタリアの中でも治安が良く、落ち着いた学術都市として知られるウーディネに位置し、ヨーロッパ各国から学生が集まる国際的な環境で学修・研究に取り組みます。産業界との結びつきが強い研究環境の中で、多様な価値観に触れながら専門性を高めることができます。

博士前期課程 デザイン学専攻／ダブル・ディグリー

連携大学：ロンドン芸術大学（イギリス）

世界トップクラスの芸術大学UALとの共同開設コース。すべての授業でコラボレーションが行われ、各国から集まった学生同士のみならず、デザイン以外の分野の人々とも学ぶことで、大きな課題に対処する力を身に付けます。詳細はこちら→



博士前期課程 先端ファイブロ科学専攻／マルチプル・ディグリー

連携大学：ボロース大学（スウェーデン）、ゲント大学（ベルギー）、西アッティカ大学（ギリシャ）、オートアルザス大学（フランス）、ウッチ工科大学（ポーランド）

2年間で少なくとも3ヶ国で学び、最終的に上記の大学より3つ以上の修士号を取得します。全世界から集まる学生と共にテキストスタイル学を極めます。詳細はHPへ<https://we-team.education/>



With the support of the
Erasmus+ Programme
of the European Union



詳細については、大学HP（国際交流＞海外留学＞留学プログラム＞5.JD/DDプログラム）をご覧ください。

*コチュテルでは、本学から授与される学位記に本学と派遣先大学の双方から博士論文共同指導を受けたことが明記されます。ここに記載のない大学へのコチュテルをお考えの場合、指導教員を通じて国際課までご相談ください。

世界に飛び立つ準備、ここから始めよう！

キャンパスにしながら、いろんな留学準備や国際交流ができます！

グローバルcommons（大学会館2階）

グローバルcommonsは、毎日楽しく国際交流ができる広場です。また、海外留学に関する掲示板が設置されており、留学雑誌、協定校の資料なども閲覧できます。持ち帰りOKのパンフレットやチラシもあります。ご予約は不要です。お好きなタイミングに気軽にお立ち寄りください！！



様々な国から来た留学生スタッフとおしゃべりしませんか？
昼休みから夕方にかけてオープンしています。
七夕や書初めなど、いろんなイベントも開催してます！
ぜひ参加してみてくださいね♪



Lunchtime English Table

ランチタイムに楽しく英語で雑談をしませんか？
英語で話す機会が欲しい、将来留学を考えているなど、
どなたでも大歓迎です！途中参加・途中退場もOKですので、
気軽に参加して雑談力を上げましょう。



大学会館 2階



スケジュールは
こちらより

JoinTECH-Seminar



半導体材料をはじめとする高機能・最先端の材料分野の研究留学ができる「JoinTECH-Laboratoryプログラム」で、欧州の6大学に留学した学生たちが成果を発表するセミナーを毎年実施しています。留学先で自身の研究をどのように継続し、新たな刺激を受けながら深化させてきたのか、その経験と成果が語られます。先輩たちの体験談が聞けるよい機会です。昨年度のセミナーの様子は、こちらからご覧ください。
今年度の開催日は決定次第、学生情報ポータルで告知されます。



英語の授業を通して留学準備！

来るべき海外留学に備え、英語の授業においても多角的な観点から考え、学び、語り、議論する機会を提供しています。単位取得済み授業であっても、担当教員からの許可が下りれば学びたいテーマの時だけ参加することも可能です（単位修正や追加の単位取得はできません）。3、4年生の皆さんも、留学しよう、英語を再度学びたい、と思った時には、ぜひ英語の授業への参加を検討してみてください。

図書館を利用して英語力UP！

図書館には、貸出可能な**英語の映画**や**マンガの英語版**があります。また、それぞれの専門分野のテーマを分かりやすく解説している**入門書シリーズ**（Very Short Introductions (VSI) シリーズ）なども配架されています。会話の英語、専門書の英語など、多様な英語に触れて英語での表現力・コミュニケーション力を高めましょう！

英語だけじゃない、世界の学び

本学では、ドイツ語・フランス語・中国語も学べます。それらの国の文化に関する授業も開講されています。言語と文化に触れることで世界はより身近になるでしょう。留学を目指している方はぜひ受講してください。



KIT短期海外英語研修



- 先生の英語はとてもわかりやすく聞き取りやすく、ディスカッションやプレゼンも多かったので、自然と英語を話す機会が増えました。
- ホームステイや授業では自分の意見を求められる場面が多く、完璧でなくてもいいからまず英語で伝えてみよう、という気持ちで取り組むことができました。
- 「英語を話すのが楽しい」と感じる事が多く、毎回の授業が楽しみでした。
- ホームステイを経験したことで、特に会話力が大きく伸びたと実感しています。
- 日本では当たり前だと思っていた考え方が、海外では少数派であることも多く、物事の見方が大きく変わりました。
- この留学を通して、将来英語を使ってグローバルに働きたいという気持ちが以前より強くなりました。

KIT短期海外英語研修参加学生
リーズ大学（英）へ留学

交換留学



情報セキュリティへの知識欲と、海外で生活してみたいという思いから留学を志し、現在留学中です。台湾科技大は本学と協定校であり、講義内容にも魅力を感じたことが決め手です。こちらでは時刻表のない公共交通や、レシートに宝くじが付く制度など、日本とは異なる生活文化に驚かされています。実際に当選したことも、日常の中で異文化を楽しむ貴重な経験となりました。シェアハウスでの水道トラブルでは、ルームメイトが率先して対応してくれ、共同生活への不安が「支えあえる安心感」へと変わりました。また、困っている人に積極的に声をかける台湾の人々の「能動的な優しさ」に何度も救われています。この助け合いの文化に触れ、自分も素直にSOSを出せるようになりました。「適度に人を頼ることは、コミュニケーションの第一歩」。そう気づけたことで、以前より少し生きやすくなりました。留学を考えている方には「語学は完璧でなくても良い」と強く伝えたいです。「行ってから何とかする」という飛び込む勇気が大切だと思います。

B3 情報工学課程 栗山 樹
国立台湾科技大学へ留学

ダブル・ディグリー プログラム



ロンドン芸術大学でのダブル・ディグリープログラムでの留学生活は、私にとって多くの刺激にあふれた経験でした。

このプログラムでは、さまざまなデザイン分野を学んできた学生が世界中から集まり、グループ課題を中心に授業が進められます。私はこれまで建築を学んできたため、グループ実践の中でその知識を活かした提案ができる場面もありました。異なるデザイン分野を学んできたクラスメイトから新しい視点のアイデアを得ることも多く、互いに高め合える環境だと感じます。

ロンドンでは美術館や博物館が無料で開放されており、休日には散歩感覚で訪れることが出来ました。中でもヴィクトリア アルバート ミュージアムはお気に入りの場所です。さらに、女子寮での生活を通じて、日本人をはじめ多国籍の留学生とも交流することができ、同じロンドンで学ぶ仲間として多くの刺激を受けました。

M1 デザイン学専攻 小川 芹奈
ロンドン芸術大学へ留学

カンボジア エンジニアリングキャンプ



- カンボジアの学生との交流を通じて、異文化の考え方や価値観に触れることができました。
- お互いが英語でコミュニケーションすることを通じて、英語力が向上し、後半は現地の学生と円滑に意思疎通ができるようになりました。
- 太陽光発電システムの設計を通じて、MPPTアルゴリズムや電子回路の基礎を学びました。また、持続可能な社会の実現への意識が高くなりました。
- 課題をチームで解決する過程で、異なる文化や考え方を持つ人々と一緒に働くことの重要性を学びました。
- 交流を通じて、国境を越えた友情を築き、今後も続く関係を構築することができました。
- アンコールワットの建築が太陽の動きに基づいて設計されていて、自然と文化の深い結びつきに驚きました。
- 様々なクメール文化や料理に出会えました。
- カンボジアの歴史的な悲劇について学び、過去の出来事を忘れずに伝えることの重要性を痛感しました。

カンボジア エンジニアリングキャンプ 参加学生
カンボジア国立工科大学へ留学

JoinTECH-Visit プログラム



将来、海外で活躍できる研究者になることを目標に、1か月間 JoinTECH-Visit で、イタリアのベニス大学カ・フォスカリ校に研究留学をしました。金属量子ドットの合成方法とをコーティングするためのZnSシェルの形成方法、そして、解析技術として用いる機械学習について学習を深めました。現地の研究室では、これまでに扱ったことがない器具や装置に触れ、日本での研究では体験できない技術を学べ、海外の研究環境を肌で感じられる貴重な経験ができました。指示や議論を英語で理解することに苦労する場面もありましたが、疑問があれば積極的に質問し、粘り強くコミュニケーションを取ることを心がけました。研究室の先生方は常に丁寧に対応してくださり、安心して英語で発言できる環境でした。その結果、円滑に研究目的を達成することができ、加えて英会話力も向上したと感じています。この経験を通じて、異文化の中でも積極的な姿勢が非常に大切であると強く実感しました。

B4 応用化学課程 大西 晴太
ベニス大学カ・フォスカリ校（伊）へ留学

KITICO



KITICOとは本学の留学生が京都での大学生活を楽しめるようにサポートする学生の団体です。

「国際交流に興味はあるけど、勇気が出ない…」そんな人にはKITICOがおすすめです！

英語は、「Hi!」の一言から始まります。短い言葉ですが、この一言が新しい友達を作るきっかけになります。

KITICOでは、留学生と一緒に和菓子作りをしたり、日本の伝統建築をめぐったり、楽しみながら交流を深めます。仲良くなるきっかけがとても多いです！

英語が得意でなくても大丈夫です。「伝えたい」という気持ちがあれば、きっとたくさんの友達ができます！

KITICOの活動に興味がある方は、国際課までお問い合わせください。

B3 応用生物学課程 廣瀬 佑衣
2025年度 KITICO運営メンバー

※加入方法等はMoodleで「KITICO」と検索してください。
(学年は留学時のもの)

留学中のサポート体制



- ① 留学プログラムの参加者は、「学生教育研究災害傷害保険付帯 海外留学保険」または、「海外旅行傷害保険」（治療・救援費用無制限のもの）への加入が必須となります。
- ② 海外危機管理サービスへ登録
 - ・24時間年中無休の安心サポートデスクにより緊急時の支援を実施
 - ・スマートフォンの専用アプリで無事を確認



各自でも外務省の「海外安全ホームページ」(www.anzen.mofa.go.jp) 等で十分に情報収集をしてください。

交換留学について

- 交換留学とは、本学と授業料不徴収の協定を結んでいる大学へ、学期単位（1セメスター～最大1年間）で留学するプログラムです。
- ・本学への授業料を納めることにより、派遣先大学の授業料が免除されます。
 - ・単位互換制度を利用し、留学先の大学で取得した単位が、本学で認定される場合があります。
 - ・交換留学が可能な大学は下記の大学一覧をご覧ください。
 - ・通常、交換留学は渡航の1年半前から準備を始めます。具体的な進め方は、Moodleにて詳しく説明していますので、ぜひご覧ください。（Moodleページで「交換留学」と検索、もしくは、右記のQRコードよりアクセス）



交換留学のすすめ方

交換留学が出来る海外協定大学一覧（学生交流覚書締結校）

国・地域名／大学名	人数	応	物	設	デ	織	コーディネーター（所属・教員）
中国							
東華大学	2	●	●	●		●	織維 山田 和志
浙江理工大学	2	●	●	●	●	●	織維 徐 淮中
香港理工大学紡織衣服学院	2					●	織維 安永 秀計
天津工業大学	2			●			情報 杜 偉薇
台湾							
大同大学	2	●	●	●	●	●	デザ・建 木谷 庸二
国立陽明交通大学	2	●	●	●	●	●	デザ・建 木谷 庸二
国立台湾科技大学	2	●	●	●	●	●	電子 高橋 和生
韓国							
嶺南大学	2	●	●	●	●	●	情報 桑原 教彰
水原大学	2	●	●	●	●		デザ・建 中野 仁人
カザフスタン							
アル・ファラビ・カザフ国立大学	2	●	●	●			電子 高橋 和生
カザフ・プリティッシュ工科大学	2		●	●			電子 高橋 和生
タイ							
キングモンクート工科大学トンブリ校	2	●	●	●	●		デザ・建 角田 暁治
カセサート大学	2	●	●	●	●		情報 水野 修
チェンマイ大学	2	●	●	●	●		— 国際センター長
ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校	2	●	●	●	●	●	織維 麻生 祐司
チュラロンコン大学	2	●	●	●	●	●	— 国際センター長
マヒドン大学	2	●	●	●	●	●	織維 岡久 陽子
ベトナム							
カント大学	2	●	●	●			情報 福澤 理行
ハノイ工科大学	2	●	●	●		●	情報 福澤 理行
ベトナム国立大学ホーチミン理科大学	2	●	●	●		●	分子 黒田 浩一
ハノイ医科大学	2	●					分子 熊田 陽一
ベトナム国立大学ホーチミン工科大学	2	●	●	●	●	●	材料 坂井 互
国立医用材料研究所	2	●					応生 吉田 英樹
カンボジア							
カンボジア国立工科大学	2			●			電子 高橋 和生
シンガポール							
シンガポール国立大学デザイン工学部	2	●	●	●		●	織維 山田 和志
インドネシア							
バンドン工科大学	2				●		デザ・建 VIRAY Erwin ★
マレーシア							
マレーシア科学大学	2	●	●	●		●	応生 小谷 英治
マラヤ大学工学部	2	●	●	●		●	織維 青木 隆史
インド							
インド工科大学グワハティ校	2	●	●	●	●	●	織維 櫻井 伸一
トルコ							
ミマル・スィナン芸術大学	2				●	●	デザ・建 大田 省一
イギリス							
リーズ大学	2	●	●	●	●	●	デザ・建 北口 紗織
キングストン大学	2	●	●	●	●		デザ・建 山本 史
ロンドン大学シティ・聖ジョージ校	2	●					応生 加藤 容子
グラスゴー美術大学	2				●		デザ・建 大田 省一
スイス							
ジュネーブ造形芸術大学	2				●		デザ・建 VIRAY Erwin ★
ルツェルン応用科学芸術大学	2			●	●		デザ・建 木下 昌大
バーゼル大学	2		●				材料 MARIN Elia

国・地域名／大学名	人数	応	物	設	デ	織	コーディネーター（所属・教員）
ドイツ							
シュツットガルト専門大学	2			●	●		デザ・建 角田 暁治
アーヘン工科大学機械工学部	2		●	●		●	織維 綿岡 勲
ケルン応用科学大学（建築学部以外）	2		●	●			電子 高橋 和生
ケルン応用科学大学建築学部	2				●	●	デザ・建 角田 暁治
ユストゥス・リービヒ大学ギーゼン	2			●			電子 高橋 和生
フランス							
パリ・ラ・ヴィレ国立建築大学	2				●		デザ・建 大田 省一
ヴェルサイユ国立建築大学	2				●		デザ・建 大田 省一
IMT ノール国立技術大学	2				●	●	織維 大谷 章夫 ★
INSAIT（国立繊維工芸工業高等学校）	2				●	●	織維 綿岡 勲
フランス国立高等研究院	2			●			デザ・建 大田 省一
オルレアン大学	2		●	●			電子 高橋 和生
オートアルプス大学	2	●	●	●		●	織維 佐久間 淳
ソルボンヌ大学	2				●		デザ・建 大田 省一
ベルギー							
リエージュ大学	2	●	●	●	●		デザ・建 大田 省一
モンス大学	2	●	●	●	●		デザ・建 大田 省一
ゲント大学	2	●	●	●	●	●	織維 奥林 里子
オランダ							
デルフト工科大学建築学部	1				●		デザ・建 笠原 一人
オーストリア							
ウィーン工科大学	2	●	●	●	●		分子 中 建介 ★
チェコ							
リベツ工科大学	2			●	●	●	織維 安永 秀計
イタリア							
トリエステ大学	2	●	●	●	●		材料 MARIN Elia
トリノ工科大学	2	●	●	●	●		材料 朱 文亮 ★
ヴェネツィア建築大学	2				●		デザ・建 MARTINEZ Alejandro
ヴェローナ大学	2	●	●	●			材料 MARIN Elia
パドヴァ大学インダストリアル工学部	2		●	●			材料 MARIN Elia
パドヴァ大学情報工学部	2			●			電子 小林 和淑
ミラノ工科大学	2	●	●	●	●		材料 朱 文亮
ウーディネ大学	2	●	●	●	●		材料 MARIN Elia
ベニス大学カ・フォスカリ校	1		●				分子 熊田 陽一
スロベニア							
リュブリャナ大学	2		●				分子 熊田 陽一
スペイン							
カタロニア工科大学 ESEIAAT	2		●	●		●	織維 佐久間 淳
カタロニア工科大学 EEBE	1	●	●	●			織維 佐久間 淳
カタロニア工科大学 ETSEIB	1			●			織維 佐久間 淳
デンマーク							
デンマーク王立アカデミー建築学部	1				●		デザ・建 角田 暁治
デンマーク王立アカデミーデザイン学部	1				●		デザ・建 中野 仁人
フィンランド							
アールト大学（芸術・デザ・建部）	2				●		デザ・建 木谷 庸二
LAB 応用科学大学	2			●	●		デザ・建 中野 仁人
スウェーデン							
ボロース大学	2	●		●		●	織維 奥林 里子

応用生物学域

物質・材料科学域

設計工科学域

デザイン科学域

繊維学域

- ・●は、本学学生が過去3年間に交換留学をした実績がある協定校の分野です。
- ・●●は、この協定校に本学と共通する学部等があることを示しています。共通する分野の教育・研究がされている場合、交換留学が許可される可能性があります。各大学のHPで学びたい分野があるか調べた上で、国際課までご相談ください。
- ・コーディネーター（教員）の所属分野にかかわらず、協定校への留学の相談ができます。
- ・★が付いている大学は分野により留学相談窓口が異なります。国際課までご連絡ください。

最新情報を随時
チェックしてください！

❗ 2027年春学期（通常2月・3月開始）の交換留学については、募集時期が前倒しになる可能性があります。

留学のご相談は随時受付中！

国際課 海外留学係 Email: go@jim.kit.ac.jp

※留学相談を希望する方はメールにて希望日時（平日13:00-16:00）と相談内容をご連絡ください。

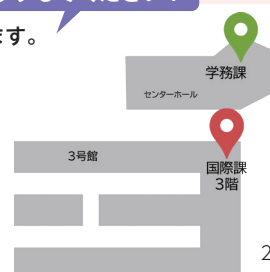
短期英語研修については
学務課 学務企画係

Email: gakumu@jim.kit.ac.jp

日本のものづくりインターンシップについては

学務課 連携教育係

Email: chiiki@jim.kit.ac.jp



2026年4月1日発行